

小規模校のメリット・デメリットについて

平成27年1月の文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模適正配置等に関する手引き」には、小規模校のメリット・デメリットが次のように記載されています。

＜小規模校のメリット＞

- ① 一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい
- ② 意見や感想を発表できる機会が多くなる
- ③ 様々な活動において一人一人がリーダーを務める機会が多くなる
- ④ 運動場や体育館などが余裕をもって使える
- ⑤ 教材、教具など一人一人に行き渡らせやすい
- ⑥ 異年齢の学習活動を取り組みやすい、体験的な学習や校外活動を機動的に行うことができる
- ⑦ 地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした活動が展開しやすい
- ⑧ 児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な指導ができる

＜小規模校のデメリット＞

- ① クラス替えが全部又は一部の学年でできない
- ② クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない
- ③ 習熟度別学習などクラスの枠を超えた多様な指導体系がとりにくい
- ④ 運動会、遠足、修学旅行等の集団活動、行事の教育的効果が下がる
- ⑤ 男女比の偏りが生じやすい
- ⑥ 上級生、下級生間のコミュニケーションが少なくなる、学習や進路選択の模範となる先輩の数が少なくなる
- ⑦ 体育の球技や音楽の合唱のような集団学習・行事の実施に制約が生じる
- ⑧ 班活動やグループ分けに制約が生じる
- ⑨ 協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる
- ⑩ 教科等が得意な子どもの考えにクラス全体が引っ張られがちとなる
- ⑪ 指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける
- ⑫ 児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる
- ⑬ 教員と児童生徒との心理的な距離が近くなりすぎる

学校適正規模・適正配置のメリット・デメリット

	小規模校(1学年1学級)		適正規模校(1学年2学級)
	メリット	デメリット	メリット
学習面	○児童・生徒の一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	○集団の中で多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少ない。 ○1学年1学級の場合、ともに努力してより良い集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。	○集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力をさらに伸ばしやすい。
	○意見や感想を発表する機会が多い。 ○学校行事等において、児童生徒一人一人の個別の活動機会を設定しやすい。	○運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。 ○児童生徒数、教員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習・指導形態を取りにくい。	○運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい。 ○児童生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習・指導形態を取りやすい。
生活面	○児童生徒相互の人間関係が深まりやすい。 ○異学年間の縦の交流が生まれやすい。	○クラス替えができないことから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。 ○集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。 ○切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。	○クラス替えができることから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい。 ○切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすい。
	○児童生徒一人一人に目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい。	○組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。	○学校全体での組織的な指導体制を組みやすい。
学校運営面 財政面	○全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 ○学校が一体となって活動しやすい。	○教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい。 ○教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。 ○一人に複数の校務分担が集中しやすい。 ○教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。	○教員数がある程度多いため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教職員配置を行いやすい。 ○教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いやすい。 ○校務分担を組織的に行きやすい。 ○出張、研修等に参加しやすい。
	○施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。 ○運動場や体育館などが余裕をもって使える。	○子ども一人当たりにかかる経費が大きくなりやすい。	○子ども一人当たりにかかる経費が少なくなりやすい。
その他	○保護者と地域社会との連携が図りやすい。	○PTA活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。	○PTA活動等において、役割分担により、保護者の負担を分散しやすい。